



ANNUAL REPORT 2018

一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟 年次報告書 2018

CONTENTS

03 会長挨拶

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 会長 北澤豪

04 TOPICS 2018

インクルーシブフットボールフェスタ初の広島開催 / JIFF 指導者登録制度ほか

06 JIFF の活動

2018 年度事業報告 / 2019 年度事業計画

08 パートナー / 支援団体

パートナー制度について / 研修実績 / 2018 年度ロゴ掲載実績 / パートナー企業・支援団体一覧

10 7団体の全国大会・日本代表実績 2018

7つの障がい者サッカー 2018 年度の全国大会結果および日本代表戦績

11 JIFF 概要

理念 / ビジョン / 機能・役割 / 基本情報



サッカーから 共生社会の実現を

一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

会長 北澤 豪



© 馬場道浩

本連盟が設立され4年目を迎え、7つの障がい者サッカー、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）・関連団体との連携は着実に進歩しています。

インクルーシブフットボールフェスタ

設立初年度から東京で開催している「インクルーシブフットボールフェスタ(障がいの有無に関わらずサッカーを楽しめるフェスティバル)」は、昨年度、パートナー企業の協力を得て、広島県で初めて地域展開いたしました。この活動は全国へと広がっています。

JIFF 指導者登録制度

「インクルーシブフットボールコーチ」「JIFF 普及リーダー」という JIFF 指導者登録制度を設け、全国の JFA 有資格指導者の誰もが障がい児・者を指導できる(している)環境の実現を目指しています。

統一ユニフォーム

2017年度に、団体ごとに異なる日本代表チームのユニフォームを統一しました。2018年度は統一ユニフォームを着たデフサッカー女子日本代表、デフフットサル女子日本代表はアジア太平洋選手権を制覇、デフサッカー男子日本代表、デフフットサル男子日本代表は同大会で準優勝しました。アンプティサッカー日本代表はワールドカップ過去最高位となる10位の成績を残すことができました。

今年度もCPサッカー日本代表がワールドカップ、ブラインドサッカー男子日本代表がアジア選手権、電動車椅子サッカー日本代表がアジア太平洋オセアニア選手権、デフサッカー男子・女子日本代表がデフリンピックアジア予選、デフフットサル男子・女子日本代表がワールドカップに挑み、世界での活躍が期待されます。

将来的には SAMURAI BLUE、なでしこ JAPAN、フットサル日本代表、ビーチサッカー日本代表と同じユニフォームを着用し、タイトル獲得を目指しています。

大切なのは日常から変えること。活動の積み重ねが、私たちの目指す共生社会の実現へ繋がります。本連盟は、サッカー界、スポーツ界で連携しながら、さらなる普及・発展に努めてまいります。東京オリンピック・パラリンピックを翌年に控え、さらにスピードを上げて、日本の障がい者サッカーを発展させていきます。今後とも、益々のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

2019年4月

TOPICS 2018

インクルーシブフットボールフェスタ 全国展開に向け、**広島**で初の地域開催が実現



子どもたちとインクルーシブフットボールを楽しむ森崎浩司さん

2018年度、障がい者と健常者が一緒にサッカーを楽しむことで心のバリアを取り除くことを目的とした「インクルーシブフットボールフェスタ」の地域展開がはじまりました。一般社団法人日本障がい者サッカー連盟（JIFF）は、2016年から毎年12月に東京で本フェスタを開催してきました。2019年3月2日、東京以外で初となる「インクルーシブフットボールフェスタ広島2018」を佐伯区スポーツセンター（広島市）で開催することができました。

この広島開催は、地元企業18社の協賛や地元Jクラブのサンフレッチェ広島、地元の障がい者サッカークラブ・A-pfeile広島、ERST広島M.S.C、広島県電動車椅子サッカー協会等の協力を得て、2018年4月に発足

した一般社団法人広島県インクルーシブフットボール連盟を中心に、“地域主体”で実現しました。当日はサンフレッチェ広島から育成コーチ2名、さらにゲストとしてサンフレッチェ広島のアンバサダー森崎浩司さんとクラブ・リレーションズ・マネジャーの森崎和幸さんも参加し、終始会場を盛り上げていました。

当日は、小学生を対象に障がい児と健常児の混合チームで行う「インクルーシブフットボール」と、一般参加の「障がい者サッカー体験会（ブラインドサッカー、アンティサッカー、電動車椅子サッカーの3つを体験）」を午前と午後の2回実施しました。インクルーシブフットボールは広島では初開催ということもあり、まぜこぜでの実施を心配する声もありました。しかし当日みんなで一緒にボールを蹴ると、障がいの有無に関係なく自然に混ざり合い、会場ではたくさんの笑顔が見られました。

参加者の親御さんから「普段は障がいがあるからと参加するイベントを諦めたこともあります。今回のイベントをきっかけに親子でもっと『外』に出たいと思います」というお話がありました。こうした機会を増やしていくことが、共生社会への大きな一歩になります。

今回の広島開催を機に、JIFFは本フェスティバルの全国展開を目指します。



アンティサッカーを体験する森崎和幸さん（左）、子どもたちのインクルーシブフットボールに加わるJIFF北澤会長（右）

障がいの有無に関係なく誰もが、いつでも、どこでも、サッカーを楽しめる環境を

障がい者と健常者の橋渡し役となる指導者を求める「JIFF 指導者登録制度」

JIFF は、JFA と連携し、2017 年度より JFA および 47 都道府県サッカー協会が主催する有資格指導者向けの研修会に障がい者サッカーに関するカリキュラムを導入してきました。2018 年度より、その修了者を対象とした「JIFF 指導者登録制度」を新設。本制度は、全国で障がい児・者がサッカーの指導を受けプレーできる環境の実現を目的に、2018 年 7 月にスタートしました。JFA 有資格指導者向けの「障がい者サッカー指導コース」修了者は「インクルーシブフットボールコーチ」として、無資格者でも受講可能な「障がい者サッカー指導ショートコース」修了者は「JIFF 普及リーダー」として登録を行っています。

2018 年度、インクルーシブフットボールコーチは

62 名、JIFF 普及リーダーは 27 名が登録しました。登録者には、自身の指導現場で実践するほか、JIFF から障がい者サッカー情報の配信、JIFF 主催事業等での指導実践の場の提供などを行っています。

JIFF は今後も JFA と連携し、障がいの有無に関わらず、誰もが、いつでも、どこでもサッカーを楽しめる環境の実現に向けて活動していきます。

インクルーシブフットボールコーチ

開催地	東京都	大阪府	石川県	岩手県	長崎県	合計
登録者数	32 名	7 名	3 名	20 名	0 名	62 名

JIFF 普及リーダー

開催地	兵庫県	合計	JIFF 指導者登録者総数
登録者数	27 名	27 名	89 名

聴覚障がい者のスポーツ参画を促す「JIFF 手話通訳費用補助制度」

JIFF は JFA と連携し、JFA または 47 都道府県サッカー協会が主催するサッカー・フットサルの指導者講習会および審判講習会へ聴覚障がい者が参加しやすいよう、講習会主催者に対して手話通訳費用を補助する制度を 2018 年 6 月に新設しました。2018 年度（制度策定初年度）は、東京都・北海道・愛知県において各サッカー協会が制度を活用し、合計 6 つの講習会を行いました。

これまでは、聴覚障がい者が講習会等に参加するには、主催者は予算的な問題で手話通訳者を手配することが難

しく、参加を断念するか、自ら手話通訳者を手配するか、手話通訳者なしで参加する状況でした。ライセンス獲得を目指す聴覚障がい者の経済的負担を取り除き、誰もが同様に講習会へ参加できるよう、本制度の活用拡大を目指しています。また、本制度は障がい者のスポーツ参加を応援する方々からの寄付で一部資金がまかなわれています。インターネット上で寄付を募っており、2018 年度は 686 名から、25 万 5,672 円の寄付をいただきました。皆さまからのご支援に、厚く御礼申し上げます。

個人のチャレンジを社会貢献につなげる「キフティング」始動！

JIFF は、2018 年 12 月 23 日に開催した「JIFF インクルーシブフットボールフェスタ」内で、初めての試みとして「キフティング（寄付 × リフティング）」を実施しました。キフティングとは、リフティング 100 回にチャレンジし、挑戦者または応援者がその成功数 × 10 円を寄付するというアクティビティです。本企画は、寄付月間推進委員会より、「寄付月間 2018 企画特別賞」を受賞しました。

《2018 年度実績》

- ・「JIFF インクルーシブフットボールフェスタ 2018」2018 年 12 月 23 日 場所：フットサルステージ（東京都多摩市）
寄付先：「JFA 平成 30 年 7 月豪雨義援金」 参加者：約 60 人 寄付額：46,819 円
- ・「インクルーシブフットボールフェスタ広島 2018」2019 年 3 月 2 日 場所：佐伯区スポーツセンター（広島県広島市）
寄付先：「日本赤十字社 平成 30 年 7 月豪雨災害義援金」 参加者：55 人 寄付額：60,740 円
- ・「JIFF まぜこぜスマイルサッカー in むさプラ」2019 年 3 月 31 日 場所：武蔵野の森総合スポーツプラザ（東京都調布市）
寄付先：特定非営利活動法人東京都自閉症協会 参加者：34 人 寄付額：24,500 円



2018年度事業報告

JIFF は、2016年度から毎年主催している「インクルーシブフットボールフェスタ」の東京開催が3回目を迎え、初の地域展開として広島県での開催を実現し、健常者と障がい者が混ざり合うサッカーの楽しさ発信を地域へと拡大することができました。フットボール連携の面では、JFA有資格指導者で障がい者サッカー指導コースを受講した方々向けに設けている登録制度は全国6都府県、89名が登録。JFAまたは都道府県サッカー協会が主催する指導者講習会および審判講習会へ聴覚障がい者が参加しやすいよう手話通訳費用を補助する制度は6事業で活用され、指導者の連携と環境整備を推進することができました。企業とのパートナーシップにおいては、既存のJIFFパートナー9社が継続し、新たに2社と契約（うち、1社は1年で契約終了）することができ、JIFF加盟7団体にに対し拠出する補助金の原資を拡大することができました。また、JIFF事務局に初の正規職員を迎え、事務局機能強化を図りました。共生社会の実現に向けて、これらの事業を推進し、障がい者サッカーや障がい理解の促進に努めました。

● 7つの障がい者サッカー団体の活動支援

1. JIFFパートナー制度

JIFFの理念・活動に共感いただいた企業と、サッカーを通じて共生社会を築いていくため、パートナーシップ契約を更新または新規に締結しました。詳細は次頁参照。

2. JIFF補助金制度の運用

JIFFパートナーの協賛金等を原資とし、社員である障がい者サッカー7団体の組織基盤強化や障がい者サッ

カーの強化・普及に寄与する活動を支援するため、JIFF補助金制度を運用しました。

3. 障がい者サッカー情報発信の強化

本連盟のホームページの見直しやSNSの活用による情報発信の強化を行い、2018年7月よりメールマガジンを開始。また、JFAと連携し、JFAの広報ツール（公式HP、JFAnews等）を通じた情報発信も行いました。



JIFF メールマガジン

● 共生社会の実現に向けた事業

1. 「JIFF指導者登録制度」の新設・運用（本紙5頁参照）

2. 「JIFF手話通訳費用補助制度」の新設・運用（本紙5頁参照）

3. 外部団体主催イベントでの体験会実施

- ・東京国際ユース(U-14)サッカー大会(2018年5月4日)アンプティサッカー体験会を実施
- ・NHK主催イベント「Nスポ!」(2018年9月15日)ブラインドサッカー、アンプティサッカー、電動車椅子サッカーの体験会を実施

4. 共生社会の実現に向けたイベント開催

■ JIFFインクルーシブフットボールフェスタ2018

開催日：2018年12月23日

場所：フットサルステージ（東京都）

共生社会の実現に向け、障がい者も健常者も混ざり合ってサッカーを楽しむ目的で、都内では2016年から3年連続で開催。これまでの小学生を対象とした「インクルーシブフットボール」と一般参加の「障がい者サッカー体験会」に加え、新たに年齢やサッカー経験を問わず参加しやすいウォーキングサッカーを取り入れるなど、プログラムの幅を広げました。



■ Fリーグ×障がい者フットサル初のコラボイベント

開催日：2019年2月23日・24日

場所：駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場（東京都）

Fリーグ入替戦および全日本フットサル選手権出場決定戦の会場にて、Fリーグ×障がい者サッカーのコラボイベントを



開催。Y.S.C.C.横浜と5つの障がい者サッカーのエキシビジョンマッチやまぜこぜサッカーを実施。Fリーグとの初めてのコラボとして、貴重な機会となりました。

■ 電動車椅子サッカードキュメンタリー映画『蹴る』上映会

開催日：2019年2月27日

場所：JFAハウスヴァーチャルスタジアム JFA、Jリーグ、ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会との共催で、主にJIFFパートナーやサッカーファミリー向けに映画『蹴る』の先行上映会を実施。



■ インクルーシブフットボールフェスタ広島2018

開催日：2019年3月2日/場所：佐伯区スポーツセンター（広島県）初の広島開催で地域主体での開催が実現。当日はサンフレッチェ広島から森崎兄弟や育成コーチも参加。詳細は本紙4頁参照。

■ JIFFまぜこぜスマイルサッカー in むさプラ

開催日：2019年3月31日

場所：武蔵野の森総合スポーツプラザ（東京都）

4月2日「世界自閉症啓発デー」にあわせて国内で実施されている「Warm Blue キャンペーン」の一環で開催。4つのコンテンツを同時開催し、さまざまな楽しみ方を障がいの有無や種別、年齢や性別、サッカー経験の有無なども関係なく、混合チームでウォーキングサッカーを実施しました。



©SPOPHOTO Yu Watanabe

5. その他

- ・各種講演の実施（日本体育スポーツ政策学会/愛知県サッカー協会コーチングセミナーほか 全11件）
- ・障がい者サッカーに関する相談窓口の設置・運営

2019年度事業計画

2019年度は、JIFFが設立されて4年目となります。これまで実施してきた事業を組織基盤強化事業、コミュニケーション推進事業、フットボール連携事業、コンテンツ開発事業に再編し、JIFFパートナー制度、補助金制度の運用、障がい者サッカーに関する情報発信、指導者登録制度、手話通訳補助制度の運用、インクルーシブフットボールフェスタの開催等、継続して実施します。

新たな取り組みとして、地域における健常者サッカーと障がい者サッカーの連携を図るため、全国9地域（北海道、東北、北信越、関東、東海、関西、中国、四国、九州）での9地域障がい者サッカー連携会議の開催、インクルーシブフットボールフェスタ開催地域の拡大（茨城県）、バルサ財団との障がい者サッカー指導者講習会の開催、キフティングなどを通じた資金調達、研修・教育プログラムの開発等を実施します。

これらの事業を通じて、今年度もJIFFの理念であるサッカーを通じた共生社会の実現を目指し活動します。

● 組織基盤強化

1. JIFFパートナー制度の充実

JIFFパートナー制度を効果的に運用し、パートナーを拡大することで、事務局運営基盤の強化および社員の活動サポートの原資を確保すると共に、パートナー企業が自社のイベントや社員教育等に障がい者サッカーのプログラムを有効活用できるようにします。

2. JIFF補助金制度の実施

社員の組織基盤の強化および活動のサポートのため、JIFF補助金制度を継続して実施します。

3. 各種会議・研修会の開催

社員の組織基盤強化や組織間の連携を図るための会議や研修会を開催します。

● コミュニケーション推進

1. 障がい者サッカーに関する相談窓口

障がい者サッカーに関する様々な相談や問合せを受け付け、必要に応じて関連団体と情報共有しつつ、解決に導くよう対応します。

※これまで「平日13:00～17:00」だった対応時間を2019年度より「平日10:00～17:00」に延長。

2. 障がい者サッカーの情報収集および発信

障がい者サッカーの認知度向上のため、以下を実施します。

- 1) 障がい者サッカーに関する情報収集
- 2) JIFFサイトのリニューアルおよびSNS等による情報発信の強化
- 3) JFAの広報ツールを通じた情報発信
- 4) デジタルサッカーメディア「ゲキサカ」を通じた広報およびマーケティング支援

3. 個人向け資金調達の充実

キフティング（寄付×リフティング）、ポイントや古本を通じた寄付等支援の仕組みを構築します。

● フットボール連携

1. JFA公認指導者の障がい者サッカー活動への参加促進

JIFF指導者登録制度を運用し、JIFFから障がい者サッカー情報を伝えることで、障がい者サッカー活動への参加を促進していきます。

2. 手話通訳費用の補助制度の運用

認知拡大、制度活用件数増加を目指します。

3. バルサ財団による障がい者サッカー指導者講習会の開催

障がい児・者のサッカーのプレー環境整備をしていくことを目的に、バルサ財団から指導者を招聘し講習会を開催します。

4. 「JIFFインクルーシブフットボールフェスタ2019」の開催

障がいの有無に関係なく一緒にサッカーを楽しむ「インクルーシブフットボールフェスタ」の東京開催を進展させ、継続していきます。

5. 「インクルーシブフットボールフェスタ」の地域開催

全国各地にまぜこぜのサッカーが普及することを目指し、2018年度の広島開催につづき、「インクルーシブフットボールフェスタ」の地域開催を広げていきます。

6. 9地域障がい者サッカー連携会議の開催

《スポーツ庁委託事業》

全国で健常者サッカーと障がい者サッカーの連携を図るため、JFAとともに全国9地域（北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州）で連携会議を開催。各地域で都道府県サッカー協会やJクラブ、Fクラブ等と障がい者サッカー7団体、地域クラブ等が一同に会するのは初の試みであり、サッカーを通じた共生社会に向けた大きな取り組みとなります。

● コンテンツ開発

1. 研修・教育プログラムの開発

障がい者サッカーの特性を生かし、企業向け研修や小・中学校向けの教育プログラムの開発を行います。

パートナー／支援団体

JIFF の理念・活動に共感いただいた企業と共に、広くサッカーを通じて、障がい者と健常者が混ざり合う共生社会を築いていくための制度です。JIFF では、ご支援・ご協力いただいている法人企業のみなさまを「パートナー」と呼んでいます。一方的な支援になりがちな障がい者スポーツですが、当連盟とパートナー企業は、当連盟が理念に掲げる「障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会」を共に創り上げていく『仲間』なのです。

新契約形態での「研修プログラム」実施

サッカーを通じた共生社会づくりの一環として、障がい者について知る機会や障がい者サッカーを通じた多様性への気づきの場の創出を目指し、新たな契約形態での JIFF パートナー企業向けに障がい者サッカーの体験・研修・講演のプログラムを実施しています。2018 年度は 2 件の研修実施がありました。

体験	研修	講演
障がい者サッカーを実際に体験、または一緒にサッカーやフットサルを楽しむ、参加者が今まで持っていた障がいへのイメージ等が変化していくことを目指します。	多様性理解にとどまらず、障がい者サッカーや障がい特性を通して、多様な個性・特徴のコミュニケーションやチームワークの活性化など、応用的なテーマでの実施が可能です。	障がい者サッカー選手や、障がい者サッカー団体のスタッフ・関係者等が、障がい理解や障がい者サッカー、ダイバーシティ、障がい者を取り巻くスポーツ環境等をテーマに講演します。

2018 年度実績 2 件

視覚障がい コミュニケーション研修	「見えない」ことを通じた様々なコミュニケーション体験から、日常への気づきを得る場となりました。
聴覚障がい コミュニケーション研修	障がい者理解につながる講演に加え、話さない中での意思疎通などワークを通してコミュニケーションを考える場となりました。

2018 年度 パートナー／支援団体ロゴ 主な掲載実績

2018 年 5 月 19 日～20 日	第五回 レオピン杯 Copa Amputee (大阪府)	
2018 年 9 月 29 日	第 18 回 CP サッカー全日本選手権大会 (岐阜県)	
2018 年 10 月 27 日～28 日	第 11 回全日本ろう者フットサル選手権大会 (北海道)	
2018 年 11 月 10 日～11 日	第 1 回 ソーシャルフットボール地域選抜選手権 (東京都)	
2018 年 11 月 17 日～18 日	第 8 回日本アンプティサッカー選手権大会 (神奈川県)	
2018 年 11 月 17 日～18 日	第 15 回全日本ろう者サッカー選手権大会 (東京都・千葉県)	
2018 年 12 月 1 日～2 日	日本電動車椅子サッカー選手権大会 2018 (静岡県)	
2018 年 12 月 23 日	JIFF インクルーシブフットボールフェスタ 2018 (東京都)	
2019 年 2 月 10 日	KPMG カップ ブラインドサッカークラブチーム選手権 2019 (神奈川県)	
2019 年 2 月 16 日～17 日	第 16 回全日本知的障害者サッカー選手権大会 '19 チャンピオンシップ (静岡県)	
2019 年 3 月 16 日～17 日	第 4 回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 (岐阜県)	
2019 年 3 月 31 日	JIFF まぜこぜスマイルサッカー in むさプラ (東京都)	ほか、全 18 件



(上) JIFF に加盟している 7 つの障がい者サッカー競技団体の、主に日本選手権およびその同等の大会において、パートナーおよび支援団体ロゴ入りの横断幕を会場に掲出 (2019 年度版デザイン)
 (右) 該当する大会の公式プログラム内に社名またはロゴ入りの障がい者サッカー紹介ページを掲載 (2019 年度版デザイン)

● パートナー企業／支援団体一覧 ※ 2019年7月時点

公式ユニフォーム
サプライヤー



アディダス ジャパン株式会社

支援団体



一般財団法人 日本サッカー後援会

JIFF パートナー



株式会社協同



株式会社クリエイティブヘッズ



城南信用金庫



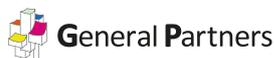
東京海上日動火災保険株式会社



三菱商事株式会社



日本マクドナルド株式会社



株式会社ゼネラルパートナーズ



ビーウィズ株式会社



住友ベークライト株式会社



株式会社マネジメントソリューションズ

サプライサービ
ス
パートナー



共和ゴム株式会社



株式会社 PR TIMES

メディア
パートナー



「ゲキサカ」

株式会社講談社が運営するデジタルサッカーメディア

アライアンス
パートナー



公益財団法人 日本ケアフィット 共育機構

JIFF パートナー制度およびご支援について

JIFF パートナー制度や法人寄付、その他ご支援については、以下よりお問い合わせください。
また、各種障がい者サッカー研修等の実施についてもお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 事務局
TEL : 03-3818-2030 MAIL : jiff_info@jfa.or.jp <http://www.jiff.football/partner>



7団体の全国大会・日本代表実績 2018

2018年度（2018年4月～2019年3月）のJIFF加盟7競技団体が開催または参加した主な大会のご紹介です。

 日本代表	アンプティサッカー日本代表 (日本アンプティサッカー協会)	アンプティサッカー ワールドカップ メキシコ 2018 10位 (過去最高順位) 10月27日～11月4日 メキシコ・サンフアンデロスラゴス市
	ソーシャルフットボール日本代表 (日本ソーシャルフットボール協会)	Dream World Cup 2018 ベスト8 5月25日～6月5日 イタリア・ローマ
	知的障がい者サッカー日本代表 (日本知的障がい者サッカー連盟)	第7回 INAS 世界選手権 2018 スウェーデン大会 6位 8月5日～18日 スウェーデン・カールスタッド市
	ブラインドサッカー日本代表 (日本ブラインドサッカー協会)	IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2019 4位 3月19日～24日 東京都品川区
	デフサッカー日本代表 (日本ろう者サッカー協会)	第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会 男子： 準優勝 女子： 優勝 4月26日～5月6日 韓国・昌原
	デフフットサル日本代表 (日本ろう者サッカー協会)	アジア太平洋ろう者フットサル選手権 男子(第3回)： 準優勝 女子(第1回)： 優勝 2月15日～24日 タイ・バンコク
国内大会(全国大会)	日本アンプティサッカー協会	第五回レオピン杯 Copa Amputee 優勝：FC アウボラーダ 5月19日～20日 大阪府大阪市
	日本 CP サッカー協会	第8回 日本アンプティサッカー選手権大会 2018 優勝：FC九州バイラオール 11月17日～18日 神奈川県川崎市
	日本ソーシャルフットボール協会	第18回 CP サッカー全日本選手権大会 優勝：横浜 BAY FC 9月29日 岐阜県岐阜市
	日本知的障がい者サッカー連盟	第1回 ソーシャルフットボール地域選抜選手権 優勝：関西選抜 11月10日～11日 東京都足立区
	日本電動車椅子サッカー協会	第4回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 優勝：東京都立志村学園 2月16日～17日 岐阜県岐阜市
	日本ブラインドサッカー協会	第16回全日本知的障害者サッカー選手権大会 '19 チャンピオンシップ 優勝：静岡県選抜 3月16日～17日 静岡県藤枝市
	日本ろう者サッカー協会	日本電動車椅子サッカー選手権 2018 マックス10優勝：Red Eagles兵庫/パワフル6 優勝：大阪ローリングタートル 12月1日～2日 静岡県袋井市
		第13回 ロービジョンフットサル日本選手権 優勝：埼玉 FC・ARES 5月4日～5日 東京都葛飾区
		第17回 アクサ プレイバック ブラインドサッカー日本選手権 優勝：Avanzare つくば 6月23日・24日・7月8日 東京都府中市・調布市
		KPMG カップ ブラインドサッカークラブチーム選手権 2019 優勝：たまハッサーズ 2月10日 神奈川県川崎市
		第11回全日本ろう者フットサル選手権大会 男子優勝：北海道混作ドーレ/女子優勝：SDFC アレグリーナ 10月27日～28日 北海道江別市
		第15回全日本ろう者サッカー選手権大会 男子優勝：東日本選抜 女子優勝：西日本選抜 11月17日～18日 東京都江戸川区

JIFF 概要

JIFF は JFA の関連団体で、JFA と協働し、7つの障がい者サッカー団体の活動をサポートする中間支援組織です。

理念

広くサッカーを通じて、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会の創造に貢献する

ビジョン

普及

障がい者サッカーの普及に努め、社会に根付いたものとなることで、誰もが、いつでも、どこでもスポーツを楽しめる環境を創りあげる

強化

障がい者サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える

組織

健全な組織の構築に努め、社会的責任を果たしていくことで、障がい者サッカーの価値を向上する

JIFF の機能・役割



基本情報

- 名称 : 一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟 (Japan Inclusive Football Federation)
- 設立 : 2016年4月1日
- 役員 ※2019年7月時点
 - 会長 : 北澤 豪
 - 副会長 : 神 一世子 (一般社団法人 日本 CP サッカー協会)
田中 正 (特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会)
 - 専務理事 : 松田 薫二 (公益財団法人 日本サッカー協会)
 - 理事 : 斎藤 紘一 (特定非営利活動法人 日本知的障がい者サッカー連盟)
塩嶋 史郎 (特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会)
鈴木 猛仁 (一般社団法人 日本ろう者サッカー協会)
田中 暢子 (桐蔭横浜大学)
矢島 久仁彦 (特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会)
山木 譲 (一般社団法人 日本電動車椅子サッカー協会)
 - 監事 : 利水 啓剛 (バックアップ会計事務所)
友野 海也
- 社員構成 : 特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会 / 一般社団法人 日本 CP サッカー協会
特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会
特定非営利活動法人 日本知的障がい者サッカー連盟 / 一般社団法人 日本電動車椅子サッカー協会
特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会 / 一般社団法人 日本ろう者サッカー協会
- 所在地 : 〒113-8311 東京都文京区サッカー通り (本郷3-10-15) JFA ハウス内
- 公式サイト : <http://www.jiff.football>
- Facebook : <https://www.facebook.com/jiff.football/>
- Twitter : https://twitter.com/JIFF_Football
- Instagram : https://www.instagram.com/jiff_football/
- 相談窓口 : 03-3818-2031 (平日 10:00 ~ 17:00) ※障がい者サッカーに関する相談窓口

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

